

## 目次

1. パート1：分類及び表示のための一般的原則 .....	25
1.1. 序.....	25
1.1.1. この手引文書の目的.....	25
1.1.2. 背景.....	26
1.1.3. ハザード分類.....	27
1.1.4. 誰がハザード分類に責任を負っているか、そしてその時刻表は？ .....	27
1.1.5. どんな物質及び混合物が分類されなければならないか（範囲） .....	28
1.1.6. 分類にはどんな情報が必要とされるか.....	29
1.1.6.1. 物質の分類のための情報.....	29
1.1.6.2. 混合物の分類のためのデータ.....	32
1.1.7. データ評価及び分類に関する決定への到達.....	32
1.1.7.1. 物質の分類.....	32
1.1.7.2. 物質の分類に関する不純物、添加物又は個々の成分の影響 .....	32
1.1.8. ハザード分類の更新.....	32
1.1.9. ハザード分類とハザード周知の間のインターフェース.....	33
1.1.10. 自己分類と調和化された分類の間のインターフェース、 及び調和化された分類のリスト.....	33
1.1.11. 分類・表示インベントリー（C&Lインベントリー） .....	35
1.1.12. 分類の他の EU 法規との関係 .....	35
1.1.12.1. REACH.....	36
1.1.12.2. 植物保護製品及び殺生物剤.....	36
1.1.12.3. 輸送法規.....	36
1.2. CLPに従う分類に関して、「形態又は物理的状態」及び「当然予期される使用」という語 の意義 .....	36
1.2.1. 「形態又は物理的状態」及び「当然予期される使用」 .....	36
1.2.2. ハザード分類に関する「当然予期される使用」という語.....	37
1.2.3. ハザード分類に関係する「形態又は物理的状態」という語 .....	38
1.2.3.1. 物理的ハザード .....	38
1.2.3.2. ヒト健康ハザード.....	38
1.2.3.3. 環境ハザード.....	39
1.3. 追加の評価を必要とする特定の場合一生物学的利用能の欠如.....	40
1.3.1. 定義 .....	40
1.3.2. 生物学的利用能 .....	40
1.3.2.1. ヒト健康ハザード.....	41
1.3.2.2. 環境ハザード .....	41
1.4. 分類及び表示のための、物質のカテゴリー化（読取り及びグループ化）並びに (Q) SAR の使用.....	42

1.4.1. (Q)SAR.....	44
1.4.2. グループ化.....	44
1.4.3. 読取り.....	45
1.5. 特定の濃度限界値及び M-ファクター.....	45
1.5.1. 特定の濃度限界値.....	45
1.5.2. 乗率 (M-ファクター).....	47
1.5.3. 調和化された ATE 値.....	47
1.6. 混合物.....	48
1.6.1. どのように混合物を分類するか.....	48
1.6.2. 物理的ハザードに対する分類.....	50
1.6.3. 健康及び環境ハザード.....	50
1.6.3.1. 混合物それ自身に関するデータを用いて導出される分類.....	51
1.6.3.2. つなぎの原則.....	51
1.6.3.2.1. 希釈.....	52
1.6.3.2.2. 生産バッチ (Batching).....	53
1.6.3.2.3. 高度に有害な混合物の濃度.....	53
1.6.3.2.4. 1つの毒性カテゴリー内での内挿.....	53
1.6.3.2.5. 実質的に類似の混合物.....	54
1.6.3.2.6. 混合物の組成が変化した場合の分類の見直し.....	55
1.6.3.2.7. エアロゾル (ある種の健康ハザードにのみ).....	56
1.6.3.3. 計算又は濃度閾値に基づく分類.....	56
1.6.3.3.1. 計算に基づく分類.....	56
1.6.3.3.2. 濃度閾値 (concentration threshold) に基づく分類.....	58
1.6.3.3.3. ハザードの加算性対非加算性.....	59
1.6.4. 混合物中の混合物の分類.....	61
1.6.4.1. 例: 混合物 A の分類.....	61
1.6.4.2. 例: 混合物 B の分類.....	64
1.7. CLP 付属書 VII.....	68
2. パート 2: 物理的ハザード.....	70
2.0. 序論.....	70
2.0.1. 分類及び試験の必須条件に関する概論.....	70
2.0.2. 安全性.....	70
2.0.3. 試験の一般的な条件.....	70
2.0.4. 物理的性状.....	71
2.0.5. 品質.....	72
2.1. 爆発物 (Explosives).....	74
2.1.1. 序論.....	74
2.1.2. 爆発物の分類に関する定義及び一般的考慮事項.....	74

2.1.3.	他の物理的ハザードとの関係 .....	75
2.1.4.	物質、混合物及びアーティクルの爆発物としての分類.....	76
2.1.4.1.	ハザード情報の特定 .....	76
2.1.4.2.	スクリーニング手順及び試験の免除.....	76
2.1.4.3.	分類クライテリア .....	77
2.1.4.4.	試験及びハザード情報の評価.....	79
2.1.4.5.	分類手順と決定ロジック .....	79
2.1.4.5.1.	判定手順 .....	79
2.1.4.5.2.	等級への割当手順.....	84
2.1.5.	爆発物のハザード周知 (Hazard Communication) .....	90
2.1.5.1.	絵表示、注意喚起語、ハザードステートメント及び予防ステートメント.....	90
2.1.5.2.	追加の表示規定 .....	91
2.1.5.2.1.	包装材依存.....	91
2.1.5.2.2.	補足ハザード情報.....	92
2.1.5.3.	更なる周知要件 .....	93
2.1.6.	輸送分類との関係.....	93
2.1.7.	爆発物の分類例 .....	94
2.1.7.1.	分類クライテリアを満たす物質及び混合物の例.....	94
2.1.7.2.	分類クライテリアを満たさない物質及び混合物の例 .....	95
2.2.	可燃性ガス (化学的に不安定なガスを含む) (Flammable gases (including chemically unstable gases)) .....	98
2.2.1.	序.....	98
2.2.2.	可燃性ガス (化学的に不安定なガスを含む) の分類についての定義及び 一般的考慮事項 .....	98
2.2.3.	他の物理的ハザードとの関係 .....	98
2.2.4.	物質及び混合物の可燃性ガス (化学的に不安定なガスを含む) としての分類 .....	98
2.2.4.1.	ハザード情報の特定 .....	98
2.2.4.2.	ガス混合物のスクリーニング手順及び試験の免除.....	99
2.2.4.3.	分類クライテリア.....	99
2.2.4.4.	試験及びハザード情報の評価.....	100
2.2.4.5.	決定ロジック .....	101
2.2.4.5.1.	可燃性ガスの決定ロジック .....	102
2.2.4.5.2.	化学的に不安定なガスの決定ロジック .....	103
2.2.5.	可燃性ガス (化学的に不安定なガスを含む) のハザード周知.....	104
2.2.5.1.	絵表示、注意喚起語、ハザードステートメント及び予防ステートメント.....	104
2.2.6.	輸送分類との関係 .....	104
2.2.7.	可燃性ガスの分類例.....	105
2.3.	エアロゾル (Flammable aerosols and aerosols) .....	106
2.3.1.	序.....	106
2.3.2.	可燃性エアロゾルの分類についての定義及び一般的考慮事項.....	106

2.3.3.	他の物理的ハザードとの関係 .....	106
2.3.4.	可燃性エアロゾルの分類.....	107
2.3.4.1	分類クライテリア .....	107
2.3.4.2.	試験及びハザード情報の評価.....	108
2.3.4.3.	決定ロジック .....	108
2.3.4.3.1.	エアロゾルの決定ロジック .....	109
2.3.4.3.2.	スプレーエアロゾルの決定ロジック .....	110
2.3.4.3.3.	泡エアロゾルの決定ロジック .....	111
2.3.5.	エアロゾルのハザード周知.....	112
2.3.5.1.	絵表示、注意喚起語、ハザードステートメント及び予防ステートメント.....	112
2.3.5.2.	追加の表示規定 .....	112
2.3.6.	輸送分類との関係 .....	112
2.3.7.	エアロゾルの分類例.....	113
2.3.7.1.	分類クライテリアを満たしているエアロゾルの例.....	113
2.3.7.2.	分類クライテリアを満たしていないエアロゾルの例 .....	114
2.4.	酸化性ガス (Oxidizing gases) .....	115
2.4.1.	序.....	115
2.4.2.	酸化性ガスの分類のための定義及び一般的考慮事項 .....	115
2.4.3.	他の物理的ハザードとの関係 .....	115
2.4.4.	酸化性ガスとしての物質及び混合物の分類.....	115
2.4.4.1.	ハザード情報の特定 .....	115
2.4.4.2.	スクリーニング手順と試験の回避 .....	115
2.4.4.3.	分類クライテリア .....	115
2.4.4.4.	試験及びハザード情報の評価.....	116
2.4.4.5.	決定ロジック .....	116
2.4.5.	酸化性ガスのハザード周知.....	117
2.4.5.1.	絵表示、注意喚起語、ハザードステートメント及び予防ステートメント.....	117
2.4.6.	輸送分類との関係 .....	117
2.4.7.	酸化性ガスの分類例.....	118
2.4.7.1.	分類クライテリアを満たしていない物質及び混合物の例 .....	118
2.5.	高圧ガス (Gases under pressure) .....	119
2.5.1.	序.....	119
2.5.2.	高圧ガスの分類のための定義及び一般的考慮事項.....	119
2.5.2.1.	「ガス」の定義 .....	119
2.5.2.2.	「高圧ガス」の定義.....	119
2.5.3.	他の物理的ハザードとの関係 .....	119
2.5.4.	高圧ガスとしての物質及び混合物の分類 .....	119
2.5.4.1.	ハザード情報の特定 .....	119
2.5.4.2.	分類クライテリア.....	120
2.5.4.3.	ハザード情報の試験と評価 .....	120

2.5.4.4.	決定ロジック .....	121
2.5.5.	高圧ガスのハザード周知.....	122
2.5.5.1.	絵表示、注意喚起語、ハザードステートメント及び予防ステートメント .....	122
2.5.6.	輸送分類との関係 .....	122
2.5.7.	高圧ガスの分類例 .....	122
2.5.7.1.	分類クライテリアを満たしている物質及び混合物の例.....	122
2.5.7.1.1.	混合物の例： 9%(O <sub>2</sub> ) + 16%(N <sub>2</sub> O) + 75%(N <sub>2</sub> ).....	123
2.6.	可燃性液体 (Flammable Liquids) .....	124
2.6.1.	序.....	124
2.6.2.	可燃性液体の分類についての定義及び一般的考慮事項.....	124
2.6.3.	他の物理的ハザードとの関係 .....	124
2.6.4.	物質及び混合物の可燃性液体としての分類.....	124
2.6.4.1.	ハザード情報の特定 .....	124
2.6.4.2.	スクリーニング手順及び試験の回避.....	125
2.6.4.2.1.	沸点.....	125
2.6.4.2.2.	引火点 .....	125
2.6.4.3.	分類クライテリア.....	125
2.6.4.4.	試験及びハザード情報の評価.....	126
2.6.4.4.1.	試験.....	126
2.6.4.4.2.	ハザード情報の評価 .....	127
2.6.4.5.	決定ロジック .....	127
2.6.5.	可燃性液体のハザード周知 .....	129
2.6.5.1.	絵表示、注意喚起語、ハザードステートメント及び予防ステートメント .....	129
2.6.5.2.	可燃性液体の追加の表示規定.....	129
2.6.6.	DSD 及び DPD に従って可燃性液体に分類された、又は輸送のために既に分類された物質及び混合物の再分類.....	130
2.6.6.1.	輸送分類との関係.....	130
2.6.7.	可燃性液体の分類例.....	130
2.6.7.1.	分類クライテリアを満たす物質及び混合物の例.....	130
2.6.7.1.1.	例 1 .....	130
2.6.7.1.2.	例 2 .....	131
2.6.7.2.	分類クライテリアを満たさない物質及び混合物の例 .....	131
2.6.7.2.1.	例 3 .....	131
2.6.8.	参考文献 .....	131
2.7.	可燃性固体 (Flammable Solids) .....	132
2.7.1.	序.....	132
2.7.2.	可燃性固体の分類についての定義及び一般的考慮事項.....	132
2.7.3.	他の物理的ハザードとの関係 .....	132
2.7.4.	物質及び混合物の可燃性固体としての分類.....	133
2.7.4.1.	ハザード情報の特定 .....	133

2.7.4.2.	スクリーニング手順及び試験の回避.....	133
2.7.4.3.	分類クライテリア.....	133
2.7.4.4.	試験及びハザード情報の評価.....	134
2.7.4.5.	決定ロジック.....	135
2.7.5.	可燃性固体のハザード周知.....	136
2.7.5.1.	絵表示、注意喚起語、ハザードステートメント及び予防ステートメント.....	136
2.7.6.	輸送分類との関係.....	136
2.7.7.	可燃性固体の分類例.....	136
2.7.7.1.	分類クライテリアを満たす物質及び混合物の例.....	136
2.7.7.2.	分類クライテリアを満たさない物質及び混合物の例.....	137
2.7.8.	参考文献.....	137
2.8.	自己反応性物質 (Self-reactive substances).....	138
2.8.1.	序.....	138
2.8.2.	自己反応性物の分類のための定義及び一般的考慮事項.....	138
2.8.3.	他の物理的ハザードとの関係.....	139
2.8.4.	自己反応性の物質及び混合物の分類.....	139
2.8.4.1.	ハザード情報の特定.....	139
2.8.4.2.	分類のクライテリア.....	140
2.8.4.3.	ハザード情報の試験及び評価.....	141
2.8.4.3.1.	熱安定性試験及び温度管理.....	141
2.8.4.3.2.	追加の考慮事項及び試験.....	142
2.8.4.3.3.	追加の分類考慮事項.....	143
2.8.4.4.	決定ロジック.....	144
2.8.5.	自己反応性物に関するハザード周知.....	146
2.8.5.1.	絵表示、注意喚起語、ハザードステートメント及び予防ステートメント.....	146
2.8.6.	DSD 及び DPD に従う又は既に輸送のために分類された輸送分類との関係.....	146
2.8.7.	自己反応性に関する分類の例.....	147
2.8.7.1.	分類クライテリアを満たす物質及び混合物の例.....	147
2.9.	自然発火性液体 (Pyrophoric Liquids).....	150
2.9.1.	序.....	150
2.9.2.	自然発火性液体の分類のための定義及び一般的考慮事項.....	150
2.9.3.	その他の物理的ハザードとの関連.....	150
2.9.4.	自然発火性液体としての物質及び混合物の分類.....	151
2.9.4.1.	ハザード情報の特定.....	151
2.9.4.2.	スクリーニング手順と試験の回避.....	151
2.9.4.3.	分類のクライテリア.....	151
2.9.4.4.	試験及びハザード情報の評価.....	151
2.9.4.5.	決定ロジック.....	152
2.9.4.5.1.	自然発火性液体の決定ロジック.....	152
2.9.5.	自然発火性液体のハザード周知.....	153

2.9.5.1.	絵表示、注意喚起語、ハザードステートメント及び予防ステートメント	153
2.9.6.	輸送分類との関連	154
2.9.7.	自然発火性液体の分類例	154
2.9.7.1.	分類クライテリアを満たす物質及び混合物の例	154
2.9.7.1.1.	例 1	154
2.9.7.1.2.	例 2	154
2.9.7.2.	分類クライテリアを満たしていない物質及び混合物の例	155
2.9.7.2.1.	例 3	155
2.9.8.	参考文献	155
2.10.1	自然発火性固体 (Pyrophoric Solids)	156
2.10.1.	序	156
2.10.2.	自然発火性液体及び固体の分類のための定義及び一般的考慮事項	156
2.10.3.	その他の物理的ハザードとの関連	157
2.10.4.	自然発火性固体としての物質及び混合物の分類	157
2.10.4.1.	ハザード情報の特定	157
2.10.4.2.	スクリーニング手順と試験の回避	157
2.10.4.3.	分類のクライテリア	158
2.10.4.4.	試験及びハザード情報の評価	158
2.10.4.5.	決定ロジック	158
2.10.4.5.1.	自然発火性固体の決定ロジック	158
2.10.5.	自然発火性固体のハザード周知	159
2.10.5.1.	絵表示、注意喚起語、ハザードステートメント及び予防ステートメント	159
2.10.6.	輸送分類との関係	159
2.10.7.	自然発火性固体の分類例	160
2.10.7.1.	分類クライテリアを満たす物質及び混合物の例	160
2.10.7.1.1.	例 1	160
2.10.7.1.2.	例 2	160
2.10.7.2.	分類クライテリアを満たしていない物質及び混合物の例	160
2.10.7.2.1.	例 3	160
2.10.7.2.2.	例 4	161
2.10.8.	参考文献	161
2.11.	自己発熱性物質及び混合物 (Self-heating substances and mixtures)	162
2.11.1.	序	162
2.11.2.	自己発熱性物質及び混合物の分類についての定義並びに一般的考慮事項	162
2.11.3.	他の物理的ハザードとの関係	162
2.11.4.	自己発熱性物質及び混合物としての分類	162
2.11.4.1.	ハザード情報の特定	162
2.11.4.2.	スクリーニング手順及び試験の免除	163
2.11.4.3.	分類クライテリア	163
2.11.4.4.	試験及びハザード情報の評価	164

2.11.4.4.1.	概論.....	164
2.11.4.4.2.	試料の準備.....	164
2.11.4.4.3.	クライテリア及び評価.....	165
2.11.4.5.	決定ロジック.....	165
2.11.4.6.	免除.....	167
2.11.5.	自己発熱性物質及び混合物のハザード周知.....	168
2.11.5.1.	絵表示、注意喚起語、ハザードステートメント及び予防ステートメント.....	168
2.11.6.	輸送分類との関係.....	168
2.11.7.	自己発熱性物質及び混合物の分類例.....	169
2.11.7.1.	分類クライテリアを満たす物質及び混合物の例.....	169
2.11.7.2.	分類クライテリアを満たさない物質及び混合物の例.....	169
2.11.8.	参考文献.....	170
2.12.	水と接触して可燃性ガスを排出する物質及び混合物 (Substances and mixtures which in contact with water emit flammable gases) .....	171
2.12.1.	序.....	171
2.12.2.	水と接触して可燃性ガスを排出する物質及び混合物の分類についての 定義及び一般的考慮事項.....	171
2.12.3.	他の物理的ハザードとの関係.....	171
2.12.4.	水と接触して可燃性ガスを排出する物質及び混合物としての分類.....	172
2.12.4.1.	ハザード情報の特定.....	172
2.12.4.2.	スクリーニング手順及び試験の回避.....	173
2.12.4.3.	分類クライテリア.....	173
2.12.4.4.	試験及びハザード情報の評価.....	173
2.12.4.4.1.	試験手順.....	173
2.12.4.4.2.	ハザード情報の評価.....	175
2.12.4.5.	決定ロジック.....	175
2.12.5.	水と接触して可燃性ガスを排出する物質及び混合物のハザード周知.....	177
2.12.5.1.	絵表示、注意喚起語、ハザードステートメント及び予防ステートメント.....	177
2.12.5.2.	追加の表示規定.....	177
2.12.6.	輸送分類との関係.....	177
2.12.7.	水と接触して可燃性ガスを排出する物質又は混合物の分類例.....	178
2.12.7.1.	分類クライテリアを満たす物質の例.....	178
2.12.7.1.1.	例1.....	178
2.12.7.2.	分類クライテリアを満たさない物質の例.....	178
2.12.7.2.1.	例2.....	178
2.12.8.	参考文献.....	179
2.13.	酸化性液体 (Oxidising Liquids) .....	180
2.13.1.	序.....	180
2.13.2.	酸化性液体の分類についての定義及び一般的考慮事項.....	180
2.13.3.	他の物理的ハザードとの関係.....	181



2.13.4. 酸化性液体としての物質及び混合物の分類.....	181
2.13.4.1. ハザード情報の特定.....	181
2.13.4.1.1. 非試験データ及び試験の回避.....	181
2.13.4.2. 分類クライテリア.....	182
2.13.4.3. 試験及びハザード情報の評価.....	183
2.13.4.4. 決定ロジック.....	183
2.13.4.5. 酸化性液体のハザード周知.....	185
2.13.4.5.1. 絵表示、注意喚起語、ハザードステートメント及び予防ステートメント.....	185
2.13.5. 輸送分類との関係.....	185
2.13.6. 酸化性液体の分類例.....	185
2.13.6.1. 分類クライテリアを満たす物質及び混合物の例.....	185
2.13.6.2. 分類クライテリアを満たさない物質及び混合物の例.....	186
2.13.7. 参考文献.....	186
2.14. 酸化性固体 (Oxidising Solids).....	187
2.14.1. 序.....	187
2.14.2. 酸化性固体の分類についての定義及び一般的考慮事項.....	187
2.14.3. 他の物理的ハザードとの関係.....	188
2.14.4. 酸化性固体としての物質及び混合物の分類.....	188
2.14.4.1. ハザード情報の特定.....	188
2.14.4.1.1. 非試験データ及び試験の回避.....	189
2.14.4.2. 分類クライテリア.....	190
2.14.4.3. 試験及びハザード情報の評価.....	191
2.14.4.4. 決定ロジック.....	191
2.14.4.5. 酸化性固体のハザード周知.....	193
2.14.4.5.1. 絵表示、注意喚起語、ハザードステートメント及び予防ステートメント.....	193
2.14.5. 輸送分類との関係.....	193
2.14.6. 酸化性固体の分類例.....	193
2.14.6.1. 分類クライテリアを満たす物質及び混合物の例.....	193
2.14.6.2. 分類クライテリアを満たさない物質及び混合物の例.....	194
2.14.7. 参考文献.....	194
2.15. 有機過酸化物 (Organic Peroxides).....	195
2.15.1. 序.....	195
2.15.2. 有機過酸化物の分類についての定義及び一般的考慮事項.....	195
2.15.3. 他の物理的ハザードとの関係.....	195
2.15.4. 有機過酸化物としての物質及び混合物の分類.....	196
2.15.4.1. ハザード情報の特定.....	196
2.15.4.2. 分類クライテリア.....	196
2.15.4.3. 試験及びハザード情報の評価.....	198
2.15.4.3.1. 熱安定性と温度管理.....	198
2.15.4.3.2. 追加の考慮事項及び試験.....	199

2.15.4.3.3. 追加の分類考慮事項 .....	200
2.15.4.4. 決定ロジック .....	200
2.15.5. 有機過酸化物のハザード周知 .....	202
2.15.5.1. 絵表示、注意喚起語、ハザードステートメント及び予防ステートメント .....	202
2.15.5.2. 有機過酸化物の追加の表示規定 .....	202
2.15.6. 輸送分類との関係 .....	202
2.15.7. 有機過酸化物の分類例 .....	203
2.15.7.1. 分類クライテリアを満たす物質及び混合物の例 .....	203
2.15.7.2. 付言 .....	205
2.16. 金属腐食性 (Corrosive to Metals) .....	207
2.16.1. 序 .....	207
2.16.2. 金属腐食性物質の分類についての定義及び一般的考慮事項 .....	207
2.16.3. 他の物理的ハザードとの関係 .....	208
2.16.4. 金属腐食性物質としての物質及び混合物の分類 .....	208
2.16.4.1. ハザード情報の特定 .....	208
2.16.4.2. スクリーニング手順及び試験の回避 .....	209
2.16.4.3. 分類クライテリア .....	209
2.16.4.4. 試験及びハザード情報の評価 .....	210
2.16.4.4.1. 一般的考慮事項 .....	210
2.16.4.4.2. 試験の最良規範に関する補注 .....	211
2.16.4.5. 決定ロジック .....	212
2.16.5. 金属腐食性物質及び混合物のハザード周知 .....	213
2.16.5.1. 絵表示、注意喚起語、ハザードステートメント及び予防ステートメント .....	213
2.16.6. 輸送分類との関係 .....	214
2.16.7. 金属腐食性物質及び混合物の分類例 .....	214
2.16.7.1. 腐食性のある混合物にばく露された後の金属試料板の例 .....	215
2.16.8. 参考文献 .....	215
3. パート3：健康ハザード（省略）	
(特別資料 No.440「CLP クライテリアの適用に関する手引（パート3）（第5版）」を参照)	
4. パート4：環境ハザード（省略）	
(特別資料 No.441「CLP クライテリアの適用に関する手引（パート4・パート5・付属書）	
(第5版)」を参照)	
5. パート5：追加ハザード（省略）	
(特別資料 No.443「CLP クライテリアの適用に関する手引（パート4・パート5・付属書）	
(第5版)」を参照)	

## 付属書（省略）

付属書 I : 水生毒性（省略）

付属書 II : 急速分解（省略）

付属書 III : 生物蓄積（省略）

付属書 IV : 金属及び無機金属化合物（省略）

付属書 V : この手引の使用者のためのインターネットリンクの収集（省略）

付属書 VI : 規則(EC) No 1272/2008 に従って生殖毒性に分類される物質についての特定の  
濃度限界値を定めるための手引きの参考文書（省略）

付属書 VII : 物理的ハザードに関する輸送及び CLP 分類間の関係（省略）

（特別資料 No.437「CLP クライテリアの適用に関する手引（パート 4・パート 5・付属書）  
（第 5 版）」を参照）

## 表の目次

表 1.1 : この手引の関連 section で対処される、健康ハザードに対して SCL 設定のための可能性	46
表 1.2 : 混合物 A 中の成分	64
表 1.3 : 成分「芳香剤混合物」	64
表 1.4 : 混合物 B 中の成分	67
表 1.5 : 成分「ベースパウダー」	67
表 1.6 : CLP 付属書 VII の変換表が DSD からの CLP への直接の変換が不可能であった ことを示す場合の、ハザードクラス	69
表 2.1 : 物質及び混合物が水と接触する場合に排出されるガスの性質に応じたハザードの例	171
表 2.2 : 異なるばく露時間後の試料の最小質量損失（6.25mm/年のクライテリアに対応）	210
表 2.3 : ばく露時間後の最小侵入深度（局所的な腐食の 6.25mm/年のクライテリアに対応）	211
表 2.4 : クラス 2.16 に分類される、並びに分類されない物質及び混合物の例	214
表 3.1～3.19、表 4.1、表 III.1、表 IV.1～IV.3、表 VI.1～VI.8 及び表 VII.1（省略）	

## 図の目次

図 1.1 : 混合物の分類方法	49
図 1.2 : つなぎの原則の適用：混合物の急性毒性分類を決定するための希釈	52
図 1.3 : つなぎの原則の適用：混合物の水生急性ハザード分類を決定するための内挿	54
図 1.4 : つなぎの原則の適用：混合物の皮膚刺激性分類を決定するための実質的に類似の混合物	54
図 2.1 : 酸化性ガスの決定ロジック（GHS の決定ロジック 2.4）	117
図 2.2 : 高圧ガスの決定ロジック（GHS の決定ロジック 2.5）	121

図 2.3 軽油、ディーゼル、軽加熱、燃焼持続性に対する、及び警句 EUH018、EUH209 又は EUH209A に対する特例を含む可燃性液体の GHS（改訂版）の決定ロジック .....	128
図 2.4：可燃性固体の決定ロジック（GHS の決定ロジック 2.7） .....	135
図 2.5：自己反応性物質及び混合物の決定ロジック 2.8 .....	145
*JETOC 注：「自己反応性物質及び混合物の決定ロジック（GHS の決定ロジック 2.8）」 のことと思われる。	
図 2.6：自己反応性物質の例の決定ロジック：NP、技術的に純粋.....	149
図 2.7：自然発火性液体の決定ロジック（GHS の決定ロジック 2.9） .....	153
図 2.8：自然発火性固体の決定ロジック（GHS の決定ロジック 2.10） .....	159
図 2.9：大容積に対する外挿 .....	167
図 2.10：木炭の臨界温度の容量依存性.....	170
図 2.11：水と接触して、可燃性ガスを排出する物質及び混合物についての決定ロジック （GHS の決定ロジック 2.12） .....	176
図 2.12：酸化性液体の決定ロジック（GHS の決定ロジック 2.13） .....	185
図 2.13：酸化性固体の決定ロジック（GHS の決定ロジック 2.14） .....	192
図 2.14：有機過酸化物の決定ロジック 2.15* .....	201
*JETOC 注：「有機過酸化物の決定ロジック（GHS の決定ロジック 2.15）」のことと思われる。	
図 2.15：25℃の水における鉄の電位 pH 図（プールベ図とも呼ばれる）。鉄元素の安定した形を 示し、暗に腐食域を示している。 .....	207
図 2.16：市場で利用可能な UN 試験 C.1 実施のための試験装置の例 .....	212
図 2.17：金属腐食物及び混合物の決定ロジック（GHS の決定ロジック 2.16） .....	213
図 2.18：ある分類された混合物について、UN 試験 C.1 に従って試験を行った後の腐食された金属 板の例.....	215
図 3.1～3.8 及び図 IV.1～IV.6（省略）	